

3. 方法書についての環境の保全の見地からの意見を有する者の意見の概要及びそれに対する都市計画決定権者の見解

「福岡市環境影響評価条例」第33条第2項の規定により読み替えて適用される同条例第8条の規定に基づく、環境の保全の見地からの意見を有する者の意見及びそれに対する都市計画決定権者の見解は、表3のとおりです。

表3 環境の保全の見地からの意見を有する者の意見及び都市計画決定権者の見解

環境の保全の見地からの意見を有する者の意見	都市計画決定権者の見解
<p>地下水位は、「七隈線及び空港線の工事の状況を把握する」とあるが、今回の工事区域で現地調査をしないと全く意味がない。季節変化もあるので、最低1年間の調査が複数点で必要。地下水質も同様。</p>	<p>地下水位につきましては、事業実施区域の地質調査のデータや近接する既存工事のデータ(博多駅地下車路工事等)を把握しており、また、平成24年1月から6月まで現地調査を実施しています。これらのデータを用いて現況把握を行いました。</p> <p>地下水質につきましては、本事業では駅間のトンネル工事は止水性の高いシールド工法を基本とし、駅部の開削工事においては剛性および止水性の高い土留壁の採用を行うことから、工事が地下水質に及ぼす影響は小さいので、地下水質の調査は実施していません。</p>
<p>地下水の利用状況の把握手法が示されていない。全戸を対象としたアンケート調査は必須である。</p>	<p>地下水の利用状況につきましては、福岡市が保有している井戸台帳を参照し現況把握を行いましたので、アンケート調査は実施していません。</p>
<p>天神南～中洲川端までの路線延長を提案する。(九州大学病院、博多駅方面は乗り換えを前提とする。)</p> <p>その理由として、工事区間が短く(工事費用を含め)人口密集地帯ではないので、現行案に比して、環境への影響も少なく済むと思う。病院へのルートを優先。</p>	<p>七隈線の都心部区間の検討につきましては、市議会(交通対策特別委員会)を中心に総合的な調査・検討を行い、天神南から博多駅ルートへの早期実現に向けた取り組みを進めることになりました。調査・検討の内容といたしましては、需要予測、事業採算性、整備効果、費用対効果、市民アンケートなどを行っております。</p> <p>なお、天神南から博多駅ルート、ご提案の天神南～中洲川端ルートともに市街地を通ることから、環境への影響に大きな違いはないと想定されます。</p>